

PRESS RELEASE

平城宮跡歴史公園開園5周年の秋！ 『平城宮跡の秋』イベントを開催します

平城宮跡歴史公園では2023年9月23日(土・祝)～12月3日(日)の期間で、ワークショップ等を通じて平城宮跡や、季節を感じていただけるイベントを多数開催します。子ども向けの工作から、家族で参加できる自然・観察体験、歴史ツアー、講演会まで、皆様でお楽しみいただける内容となっています。

ぜひ、皆様に秋の平城宮跡歴史公園も満喫いただけるよう、取材及び記事掲載のほど宜しくお願い致します。

〈PICK UP〉

◆10月29日(日)

天平びとと楽しむ、みやこのあと・まち歩きガイドツアー

平城宮跡と関わりのある周辺寺社などの魅力をつたえるスタンプラリー形式のマップ「みやこのあと・まち歩きマップ～」（平城宮跡管理センター発行）を基にしたガイドツアー。2回目の開催となる今回は「みやこのあと・まち歩きマップ～宮跡西編～」のスタンプポイントから、西大寺、西隆寺跡（現 ならファミリー）、伝称徳天皇御山荘跡（平城京一条北辺四坊六坪）と、称徳天皇ゆかりの地を巡ります。

ガイドを務めるのは、西隆寺跡及び伝称徳天皇御山荘跡の発掘に携わった杉山洋氏（龍谷大学教授）。称徳天皇御山荘跡のガイドツアーは非常に珍しく、既に奈良時代の歴史詳しい方にも興味を持って頂けるような内容です。



◆11月3日(金・祝)

真綿が背中で暖かい 和裁で“おいね”をつくろう

“おいね”とは、大和高原で昭和30年くらいまで愛用されていた背中着ける防寒具のことで、大和高原では背中に背負うことを、方言で「おいねる」と言われることが語源ともいわれています。

真綿を使って、丁寧に和裁の技法を学びながら、肌寒くなる秋から使える“おいね”を手縫いで仕上げます。



◆全3回(11月12日(日)・12月3日(日)・1月21日(日))
早川和子先生に学ぶ! 「復元画ワークショップ」

早川和子先生による、デッサンや復元画の基礎、イラストを起こすための技法を学ぶ全3回のワークショップです。

- ① デッサン・復元画の基礎
- ② 実践Ⅰ (唐招提寺の模型を見て描く)
- ③ 実践Ⅱ (構造平面図からイラストを起こす)



平城宮いざない館内イラスト

■早川 和子 (はやかわ かずこ) 氏

宮崎県生まれ。東京のアニメスタジオで「天才バカボン」、「ギャートルズ」などの動画を担当。そのうち1986年頃から考古復元イラストを描く。

復元画は、平城宮いざない館をはじめ、多くの文化施設に寄贈されている。2022年、第8回古代歴史文化賞の特別賞受賞。

◆11月23日(木・祝)
奈良時代を体験! よみがえった古代のゲーム「かりうち」対戦試合

今回で3回目となる「かりうち対戦試合」。朱雀門ひろばを舞台に、16組の参加者が対決します。老若男女問わず楽しめる簡単なルールで復元されており、毎年、幅広い層に参加いただいています。



過去のイベントの様子

■かりうちとは…

奈良時代の平城宮・京で遊ばれていた双六に似たボードゲームで、奈良文化財研究所が、出土遺物、『万葉集』、韓国の遊び「ユンノリ」を手がかりに、失われた奈良時代のボードゲームの道具やルールを復元し、現代のゲームとしてよみがえらせました。

2015年、平城宮・京をはじめ日本各地の奈良時代の遺跡で出土した土器や瓦に、共通する円形の記号が描かれたものがあり、これが「かりうち」の盤面であることを奈良文化財研究所が解明しました。



※イベント詳細は、別添チラシをご覧ください。